



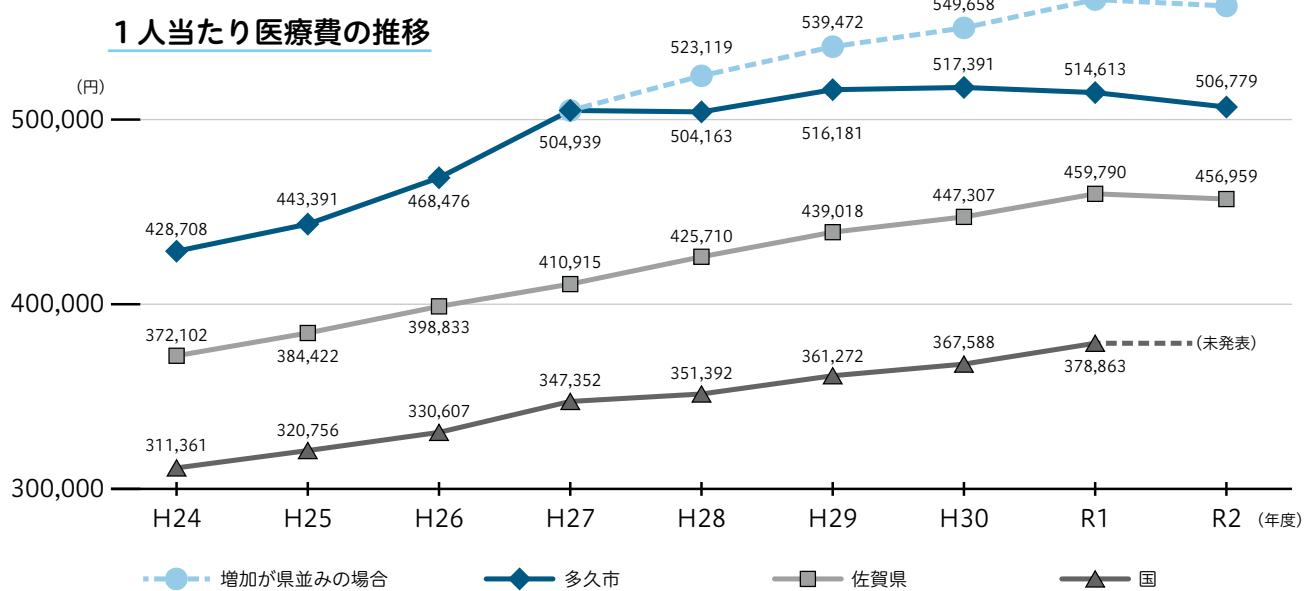
医療費を少なくするには、生活習慣病の予防が"力ギ"です

問 健康増進課 健康増進係 ☎75-3355



■国民健康保険の医療費抑制に引き続きご協力をお願いします

⑧お知らせ



国や県の医療費は右肩上がりに増加していますが、多久市では平成27年度から、ほぼ横ばいで推移しています。しかし、県内20市町の中では、3番目と高い水準です。食事や飲酒など日頃の生活習慣を見直し、運動なども取り入れ、健康的な暮らしを実現しましょう。

■どんな病気に医療費がかかっているのでしょうか

令和2年度の医療費のうち、入院よりも外来の医療費が高額になっています。

外来の医療費では、糖尿病に一番医療費を使っていることが分かりました。

糖尿病は食事や運動などの毎日の生活改善が必要で、薬だけでは治療することが難しい病気です。血糖値が高い状態が続くと、動脈硬化が進んだり、心臓や脳、腎臓などの合併症を引き起こしたりすることで、医療費が高くなってしまいます。

令和2年度医療費 18億2,300万円	
入院	外来
8億6,200万円	9億6,000万円
47.3%	52.7%

〈外来医療費 高い順〉

	疾病別(大分類)	医療費
1	内分泌、栄養および代謝疾患 (糖尿病、脂質異常症など)	1億3,900万円
2	新生物<腫瘍> (がん)	1億3,600万円
3	循環器系の疾患 (高血圧、心疾患など)	1億2,100万円
4	筋骨格系および結合組織の疾患 (骨粗しょう症、関節疾患など)	1億1,400万円
5	尿路性器系の疾患 (腎不全、前立腺肥大など)	1億円

(令和2年度国保データベースシステムより)

自分の血糖値が正常かどうかは自覚症状では判断できないので、血液検査が必要です。

年に1回、特定健診を必ず受けましょう。